

1. 評価報告概要表

作成日 平成21年 4月13日

【評価実施概要】

事業所番号	1072100454
法人名	有限会社 かしわ
事業所名	グループホームみさと
所在地	高崎市箕郷町柏木沢620-1 (電話) 027-371-6389

評価機関名	特定非営利活動法人 群馬社会福祉評価機構
所在地	群馬県前橋市新前橋町13-12
訪問調査日	平成21年3月18日

【情報提供票より】(平成21年 2月 20日事業所記入)

(1)組織概要

開設年月日	平成 13年 4月 1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	11 人	常勤 3人 非常勤 8人 常勤換算 6人	

(2)建物概要

建物構造	木造造り		
	1階建ての	1階 ~	1階部分

(3)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(月額)	20,000 円	その他の経費(月額)	実費	
敷金	無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	無		有りの場合 償却の有無	
食材料費	朝食	300 円	昼食	300 円
	夕食	300 円	おやつ	円

(4)利用者の概要(2月 20日現在)

利用者人数	9名	男性	1名	女性	8名
要介護1	2名	要介護2	2名		
要介護3	4名	要介護4	1名		
要介護5	0名	要支援2	0名		
年齢	平均 82歳	最低	72歳	最高	89歳

(5)協力医療機関

協力医療機関名	吉原クリニック・文京歯科
---------	--------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

昼食時に、家族やボランティアの人達が来訪した時には一緒に食事をとり、大勢で楽しい食事の一時を過ごせるよう支援している。また、掃除や調理、洗濯物たたみ、庭の草取り、ジグソーパズルを入居者同士が教えあったり助け合って完成するなど入居者の得意分野での役割や楽しみごとの場面を設定し、理念の実践に向け取り組んでいる。「入居している人たちの表情が明るく、穏やかな雰囲気の中で笑顔が見られるので安心していきます。」という家族からの感謝の言葉を職員は励みとし、日々のケアに取り組んでいる。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回評価の改善課題は、理念の見直し、地域との付き合い、市町村との連携、運営に関する家族の意見の反映、鍵を掛けないケアの実践、災害対策であるが、職員会議や運営推進会議で検討し対応できる項目の改善に取り組んでいる。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>自己評価は職員が項目を分担して記入し、職員会議に持ち寄り、意見を出し合いまとめている。</p>
重点項目②	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>運営推進会議を年5回開催し、事業所の活動状況、事故や外部評価等を報告の後、意見交換を行っている。家族から入居者の定期健康診断を実施するよう要望があり、定期検診を実施する等、会議を活かした取り組みが行われている。</p>
重点項目③	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>面会時や毎月の利用料を持参して頂いた時に、入居者の日常生活や健康状態等を説明している。また、面会時やケアプランの説明時に、さりげなく苦情や不満を聞くよう雰囲気作りに努めている。</p>
重点項目④	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>散歩の時に、近所の方にお茶をのみに来るよう声かけをしているが、来所される方はない。(く近隣の人々との交流は少ないと思量される。)地域住民の一員として、自治会や老人会・地域行事等に参加し、地元の人々と交流されるよう期待する。</p>

2. 評価報告書

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「心にゆとりのあるその人らしい生活が送れることを第一に考えます 趣味や特技を生かし役割や楽しみのある生活を支援し意欲の向上に努めます」と独自の理念を掲げている。	○	理念は、事業所が目指すサービスのあり方を示したものであり、グループホームの基本方針である「家庭的な環境と地域住民との交流の下で」の目的や役割を運営者及び管理者並びに職員で話し合い、基本方針を踏まえ理念の見直しをされるよう期待する。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	大書された理念が食堂の正面の壁に掲示され、職員は理念を共有している。掃除や調理、パズルや本の読み聞かせ等日々の生活において入居者一人ひとりに合った役割や楽しみ事を提供し、理念の実践に向けて取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	近隣の神社の獅子舞を見物したり、大正琴等のボランティアの訪問や自衛隊の音楽祭への招待などが行われている。散歩の時に、近所の人々にお茶飲みに来るよう声かけをしているが、事業所を訪問される方はない。	○	事業所も地域の一員として、自治会や老人会、地域行事等に参加し、地元の人々と交流されるよう期待する。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価は、職員が項目を分担して記入し職員会議に持ち寄り、意見を出し合いまとめている。前回評価での改善課題である、理念の見直し、地域とのつき合い、市町村との連携、運営に関する家族等意見の反映、鍵を掛けないケアの実践、災害対策については、職員会議や運営推進会議で検討し、対応できる項目の改善に着手している。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議を年5回開催し、事業所の活動状況、事故や外部評価等を報告の後、意見交換を行っている。家族から入居者の定期健康診断を実施するよう要望があり、会議での意見を活かし定期検診を実施している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	市へ提出する更新書類等は、法人本部の担当者が処理し、管理者等は市の担当職員と運営推進会議以外で接触する機会をもっていない。	○	管理者は、運営推進会議以外にも市の担当者へ積極的な情報提供を行い、市の担当者と協働した課題解決に向けた取り組みをされるよう期待する。
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	面会時や毎月の利用料を持参して頂いた時に、入居者の日常生活や健康状態等を説明している。職員の異動は運営推進会議で報告され、議事録に記載し家族に送付している。受診料等の立替金は、利用料請求時に領収書を添え精算している。		
8	15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	意見箱を玄関に置き、外部の苦情等申立先を重要事項説明書に記載し契約時に説明している。面会時やケアプランの説明時にさりげなく苦情や不満等を聞くよう雰囲気作りに努めている。		
9	18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	新規採用職員は、しばらくの間日勤の遅番勤務とし、ベテラン職員を付けて指導し、入居者へのダメージを防ぐ配慮を行っている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	消防署職員による救急救命講習会を開催し、全職員が受講している。管理者及び介護計画作成担当者は、外部研修を受講後報告書を作成、資料を供覧し、職員会議で発表している。その他の職員については、グループホーム大会等に参加している。		
11	20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	地域密着型サービス連絡協議会に加入し、職員は交互に大会に参加し、他事業所の事例発表を通してサービスの質の向上を目指すと共に、職員相互派遣研修や支部主催の研修会に参加し情報交換等を行い、施設運営やサービスの向上に努めている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居前に介護支援専門員が本人や家族と面談し、生活歴等を調査し希望や意向を聞いている。また、事業所見学で雰囲気を知ってもらう等不安の解消に努めている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	経験豊富な人生の先輩として入居者に接し、調理や掃除、習字や読み聞かせ等日常生活を通じ入居者と共に過ごし支え合う関係を築いている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入浴や受診の送迎等の1対1での介助の時に、大勢の前では言えない個人の希望や意向を聞いたり、意思表示の困難な入居者には選択的な問いかけを行い、日々のコミュニケーションを通じ入居者の意向の把握に努めている。		
2 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	面会時や毎月の利用料を持参して頂いた時に家族の意向を聞き記録として残し、モニタリングやケース記録を参照し、毎月開催する職員会議の意見を反映した介護計画を作成している。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	3ヶ月毎に定期見直しを行い介護計画を作成すると共に、退院時等には現状に即した計画を作成している。見直した介護計画は2部作成し、1部を家族に渡し、説明後署名を頂いている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	受診、墓参り、日用品の買い物の付き添い、入院時の付き添いや衣類の洗濯等入居者の意向や家族の状況に応じ柔軟に対応している。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居前のかかりつけ医や事業所の協力医の診察には、入居者の健康状態等を熟知している職員がバイタルチェック表を持参して受診し、医師との連携に努めている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化や終末期の医療行為を伴う介護は、医師の診断により入院等の対応をとる旨契約時に家族に説明し、了解を得ている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	居室のドアの窓には内側に布が張られ他から見られないように工夫したり、排泄介助の際の声かけやケース記録の際のイニシャルの使用等プライバシーの確保に意を用いると共に、個人記録は事務室で行い、保管している。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	裁縫や編物をしたり、聖書を読んで過ごしたり、ジグソーパズルを楽しむ等入居者一人ひとりの思いや希望に配慮した支援を行っている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	栄養バランスを考慮し、入居者の好みを取り入れた献立を作成している。調理や配膳・下膳・食器洗いや食器拭き等を職員と共に行い、一緒に食事を摂っている。また、旬の食材を使用し、昼食時に家族やボランティアの人達が来訪した時には一緒に食事を摂り、大勢で楽しく食事の一時を過ごせるよう支援している。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	曜日毎に入浴者を決め、週2日の入浴支援をしている。入浴拒否者には時間をずらし或いは昔話をしながら誘導している。現在入浴日以外の希望者はいないが、希望者にはできるだけ入浴できるよう支援していきたいと考えている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	食事の準備や後片付け、また、食事の時「頂きます」と声かけをしたり、庭の草取り等得意分野での役割を担えるよう支援している。1ヶ月に1度の習字の時間、毎週日曜日のカラオケ、ジグソーパズルを入居者同士が教え合って完成するなど楽しみごとの支援をしている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩や季節毎の梅や桜、菊等の花見へのドライブ、買い物や墓参り等できるだけ戸外に出かけるよう支援している。また、草花や畑の作物を鑑賞し、季節を感じ楽しむよう支援をしている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関の鍵は道路に面しているため、入居者の安全面を最優先し鍵をかけている。訪問者には、閉鎖時も鍵の場所を伝えいつでも訪問できるようにしている。	○	入居者の安全を確保しつつ、今後も引き続き鍵を掛けないケアについて工夫されるよう期待する。
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回、うち1回は夜間を想定し、消防署の指導を受け、避難・消火・通報の訓練を実施している。地域の人々の協力要請はしていない。	○	災害時に地域の人々の協力が得られるよう働きかけを期待する。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事の摂取状況を、食事摂取確認表でチェックしている。水分摂取は、起床時、毎食事時、おやつ時、就寝時に、コップ1～2杯の摂取を習慣化し、水分摂取に努めている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	食堂の大井は、青空に雲が浮かぶ壁紙が張られ、大窓から陽光が注いでいる、天井の扇風機が回り、加湿器が稼働し、適正な温度や湿度の管理がされている。また、食卓には季節の花が活けられ、随所に観葉植物が配置されている。畳の敷かれた居間には炬燵やテレビが置かれ、入居者は昼食後の一時を過ごしている。また、入居者の作成した桜の貼り絵や習字の作品が飾られ、入居者が季節感や生活感を感じられるよう工夫されている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	天窓のある居室が3室あり、陽光が部屋に注いでいる。各居室には使い慣れた家具、仏壇やテレビ等が持ち込まれ、家族の写真が飾られるなど居心地良く過ごせるよう配慮されている。		